

気がつけば連休もとうに過ぎ去り、テスト前の学習に集中する時期となりました。通学路の八重桜が4月下旬に咲き、うす紅色の花は5月の訪れとともに散りました。八重桜の木の下は散った花びらでうす紅色に美しく染まっていました。作家の向田邦子さんは散り行く桜の花の季節を惜しみつつ少女のころを振り返って「木綿糸を通した針で、黒くしめった地面を突くようにして桜の花びらを集め、腕輪や首飾りを作る。うす紅色の、ひんやりと冷たいこの花飾りも乾いて茶色に色が変わり、もう春もおしまいである。」と書きました。今年も藤沢総合高校は美しい緑に包まれる季節となりました。

### 【第1回学習活動成果発表会を行いました。3月19日（月）】

3月19日に学習活動成果発表会を行いました。1年間の学習を振り返ってプレゼン用の資料を作り、約7分で発表します。何を伝えるのか、どうしたらわかりやすく伝えることができるか、考え、工夫することを学びます。インターンシップの体験発表、高大連携講座受講の発表、授業発表ではスペイン語、演劇、音楽の合唱の発表がありました。生徒がどのように学習に取り組んでいるのか良くわかります。こんな積極的で前向きな生徒がごく普通にいるという喜びを、生徒も職員も共有した1日となりました。

### 【どうぞよろしくお願ひします。】

佐野副校長が逗葉高校へ転出、代わりに平塚商業高校から齊藤副校長を迎えました。社会で1年3組の担任だった山本先生が座間総合高校の教頭として転出、7人の先生方が退職、3人の先生方が本校から他校へ転出しました。転入では新採用の先生3人を含む11人の先生方を迎えました。さらに7人の再任用の先生を迎えています。総合学科高校は特色ある選択科目が多く多彩な授業を展開しているため、普通高校より多くの職員が配置されています。今年の目標は「学力向上」と「もう少し、あと一步の気持ち」です。

### 【新入生を迎え、校内もあたらしくなりました。】

4月6日に第9回入学式を行いました。男子84人、女子193人、合計277人の新入生を迎えました。これで藤沢総合高校の生徒数は826人（男子275人、女子551人）となりました。神奈川県には県立の総合学科高校は15校ありますが、本校が最大の生徒数を抱える総合学科高校となっています。厳しい予算の中から事務室が新学期を迎える生徒のために廊下と教室のワックスがけを実施、机の天板を交換、壁の塗装も行い自販機も新しくしました。すべて事務室が行ってくれたことです。事務室は生徒と学校を支えています。

### 【学校ホームページを改革します。】

本校のホームページのあり方について貴重なご意見をいただきました。時代が変わってホームページは学校と社会や家庭をむすぶ有力なツールとなっています。日々の学校の出来事をリアルタイムでお知らせすることが大事だと思います。今年はホームページを充実させます。更新にも力を入れて取り組みますし、ホームページそのものを新しく魅力的なものにしていきたいと考えています。総合推進グループの先生方が担当しています。ホットな話題を求めてカメラを片手に校内を歩く姿が目につくようになりました。

### 【ボランティア活動事前学習会に68人参加しました。4月23日（月）】

本校では校外講座や技能審査、ボランティア活動や就業体験活動を学校外の学修として単位認定することに力を入れています。ボランティア活動の内容やマナー、心得について藤沢市市民活動推進センターから講師を招いて事前学習会を行いました。22年度は16名、23年度は21名の参加があった事前学習会ですが、今年は一気に68名が参加、市民活動推進センターの講師の方も驚いていました。話を聞く態度も素晴らしく、終了後に講師からお褒めの電話をいただきました。学校の学習は教室だけ、学校の中だけで行われるものではないという総合学科の考え方が生徒に伝わりはじめたと思います。